

逃げていた自分を本気で変えた場所

経済学部経済学科 山森利生
(富山県立 富山南高等学校出身)

1.大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校では硬式テニス部に所属していましたが、客観的にみてよい成果を上げたことは一度もありませんでした。結果が出ないことに対し「楽しければそれでいい」、「自分には向いていない」と努力から逃げてきました。勉強面においても下から数えた方が早いほうでした。

2.上キャリアに入ったきっかけ・理由

これまでの自分を変えるラストチャンスだと思ったからです。「今のまま社会に出て通用するのか」と強い危機感を抱いていましたが、大学入学後の上級キャリアコース(以下、上キャリア)の説明会で、自分とは比べ物にならない覚悟で努力を重ね成果を挙げてきた先輩方がいること、そしてそれに全力で向き合う熱意の塊のような先生方がいることに圧倒されました。この環境で挑戦しなければ自分は一生変わらないと強く感じ、上キャリアの選抜試験に挑みました。

3.上キャリアで活躍するタイプは？

前提として上キャリアの学生および教員の気質はバリバリの体育会系であるため、体育会出身の方に向いていると思います。その中でも活躍するタイプを3つ紹介します。

まずコミュニケーション能力がある人です。上キャリアでは常に高い成果が求められますが、それを生み出すには仲間との協力が不可欠です。一人でコツコツやることも大切ですが、それだけだと「やれることのすべてをやっていない」努力不足の人間だとみなされます。

次に気配りができる人です。上の指摘から理解できるように、上キャリアではチームワークとそれに伴う組織としての成果も重視されます。そのため、周囲の状況や相手の立場を考え、先回りして行動できる力が大切です。小さな気配りの積み重ねが信頼を生み、結果として大きな成果に繋がります。

最後に素直な人です。上キャリアでは、先生から厳しい指導を受ける場面が多くあります。その指摘を前向きに受け止め、すぐに行動へ移せるかが重要です。素直に行動できる人ほど、確実に力を伸ばしていきます。

4.上キャリアの講義・指導は企業目線を意識している？

そうだと思います。例えば、受講態度に対する徹底した指導が挙げられます。上キャリアでは、遅刻・欠席が原則認められないというのは当然として、ほんのわずかであってもよそ見をしたり、あくびをしたりするなどやる気がないとみなされる行動をとった場合にはその場で厳しく注意されます。ケースによっては、即座の退席処分や離脱処分をくらうこともあ

ります。

以上は「やってはならないこと」についての指導ですが、これにくわえて「やるべきこと」の指導もなされます。例えば、教室に一番にやってきたのであれば電気を付けて、空調を調整する。さらには、必要に応じてカーテンを閉めることにより黒板を見えやすくするといったことです。もしあなたが、これらをする代わりに携帯をいじっていたとすれば、「戦力にならない」とメンバーから見放されてしまうことでしょう。

非常に厳しいように思われるかもしれませんが、他の人も書いているように、これらは社会人としてごく当たり前のマナーや気遣いです。上キャリアにいれば、これらについても自然と身に着けることができる結果として、就活前に急いで自身をまっとうな社会人であるかのように取り繕う必要はなくなります(笑)。ちなみに、取り繕っても数秒でバレますよ。

5.上位校に進学できていたとすれば、今以上の成果を実現できた？

できたとは思いません。なぜなら、成果とは、大学のブランドのみによって決まるものではなく、自分自身にどれだけ高いノルマを設定しそれをクリアすべく常に行動し続けられるかによって決まるものだと考えているからです。仮に上位校に進学できていたとすれば、当然上キャリアには入れなかったわけですが、だとすればここまでの努力をできたとは到底思えないのです。

上キャリアには、熱意溢れる先生方と一生の友となり得る仲間たちがいます。実績ある学習・就活支援体制もあります。だからこそ頑張れるのです。だからこそ成果が出せるのです。癖があることは確かですが、もしあなたにぴったり当てはまるようであれば、夢と希望の実現に大きく近づけるコースです。